



日本骨髄バンクの現状（平成 24 年 2 月末現在）

	1 月	2 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,819	3,372	405,525	534,274
患者登録者数	227	239	3,021	35,108
移植例数	108	104	-	13,925

- 20 歳未満のドナー登録者数
2 月 202 人
合計 17,026 人（17 年 3 月～）
- 51 歳以上のドナー登録者数
2 月新規 143 人
延長 264 人
合計 26,482 人

■2 月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／1,607 人、献血併行型集団登録会／1,688 人、集団登録会／13 人、その他／64 人 注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 日本赤十字社の骨髄データセンター事業の運営体制が平成 24 年 4 月から変わります

日本赤十字社では、平成 24 年 4 月から、血液事業の広域運営体制移行に伴い、骨髄データセンター事業についても、これまでの各都道府県単位の事業運営体制から、ブロックを単位とする広域的な事業運営体制に移行し、骨髄バンクドナーの登録情報に関するお問い合わせ先が変わります。

個人情報に関するお問い合わせ先が変わります

- ドナー登録者の個人情報は、これまで、各都道府県の地域骨髄データセンターで登録管理していましたが、平成 24 年 4 月から、新たに設置するブロック骨髄データセンターにおいて行います。
- 登録情報に関するお問い合わせは、4 月以降、最寄りのブロック骨髄データセンターまでご連絡をお願いします。なお、ブロック骨髄データセンターの所在地や電話番号は、4 月以降、中央骨髄データセンターのホームページに掲載されます。

登録受付窓口はこれまでと変更ありません。

- ドナー登録希望者の登録受付及び検体の採取は、これまで同様、地域骨髄データセンターが実施します。ドナー登録を希望される方は、最寄りの献血ルーム等の登録受付窓口にお越しくください。

2 ドナー登録者の HLA データについて

医師から「自分の患者さんが骨髄移植を検討しているが、ご家族が骨髄バンクにドナー登録しているので HLA データを知らせてほしい」という問い合わせがありました。

骨髄バンク事業は、骨髄移植が必要な患者さんの中で「①家族内に HLA 型が適合した方が見つからない方、② HLA 適合者がいても健康面または社会的条件から提供を受けられない方」に HLA 型が適合した匿名の第三者（非血縁者）を結び付け、あくまでも善意から無償で提供していただく公的な社会・医療システムです。

ドナー登録者の HLA 型検査はその全額が国庫補助金で賄われていること、また、HLA 型を公開することで臓器売買等が行われる心配や、骨髄バンクを含め公平な臓器提供の機構そのものが危くなる可能性があることから、データをドナー登録者本人に知らせない（非開示）ことが基本ルールとなっています。ご家族、主治医にも HLA データを開示していませんので、改めて医療関係者の皆さまにもご理解いただきますようお願いいたします。



3 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は34施設です。新規認定施設については、当財団ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

日本大学医学部附属板橋病院

・移植診療科

同左 血液膠原病内科

小児科

4 リーフレット「ギフト・オブ・ライフ」設置用スタンドについて

リーフレット「ギフト・オブ・ライフ」の設置用スタンドを作成しました。「ギフト・オブ・ライフ」は、ドナー登録を具体的に検討いただくためのしおり「チャンス」よりもかなり軽易な内容で、街頭での配布など、不特定多数の方に骨髄バンクを知っていただくために使用する広報資材です。設置用スタンドも小型で壁面にも設置が可能ですので、「チャンス」が置けない場所にも設置していただき、多くの方の目に触れてもらえればありがたいと考えています。必要な方は広報渉外部までご請求ください。

5 ボランティア連絡会の開催

3月8日（木）、第6回ボランティア連絡会が開催されました。昨年は震災の影響により急遽中止となり、資料の送付に留まりました。今回は全国骨髄バンク推進連絡協議会、血液情報広場つばさ、ライオンズクラブ国際協会 330-A地区から合計5名に参加をいただきました。関西骨髄バンク推進協会はイベントと重なり不参加でしたが、報告資料が提出されました。

財団から今年度の骨髄バンク事業の中間報告が行われた後、各団体から事業内容の報告をいただき、意見交換が行われました。今後、この連絡会は発展的に解消し、来年度に新設される「アドバイザリーボード」に吸収されることとなります。

6 欽ちゃんのがんばる日本大作戦

NHKの番組「欽ちゃんのがんばる日本大作戦」（以前は「欽ちゃんのワースト脱出大作戦」）で、過去2回にわたり群馬県のドナー登録推進活動が紹介されました。3月23日（金）は第3回目として、これまでの活動の実績や骨髄提供時の映像も紹介されます。放送時間は19時30分から20時43分予定です。地区普及広報委員、説明員、ボランティア、行政、日本赤十字社等の協力による半年間の努力の結果はどうなったのか・・・皆さま、是非ともご覧ください。

7 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
通常理事会・評議員会	公開・一部非公開	3月21日（水）13:00～16:00 廣瀬第2ビル地下階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 最終同意書の改訂について（調整医師、採取責任医師、コーディネーターの方へ）

公益財団法人への移行に伴い、「骨髄提供に関する同意書」ならびに「末梢血幹細胞提供に関する同意書」（最終同意書）の改訂を行います。

4月1日（日）の最終同意面談から新書式を使用してください。4月1日以降の最終同意面談で、すでに地区事務局からコーディネーターへ現行の最終同意書を送付済みの場合は差し替えをお願いします。なお、地区代表協力医師・調整医師・採取責任医師の先生方・コーディネーターの方々には、改訂後の最終同意書（見本）を今号のマンスリーJMDPに同封します。

＜変更箇所＞

(1) 「骨髄提供に関する同意書」

- ① B4 から A3 へ変更
- ② (財) 骨髄移植推進財団→公益財団法人 骨髄移植推進財団
- ③ 「7.」として凍結に関する以下の記載を追加

「私は、移植直前に患者の状態が急激に変化した場合などに、骨髄液を一時的に凍結することがあること、また、同様の理由で極めてまれに骨髄液が移植に用いられないことがあること、その際には骨髄液が廃棄されることを了解しました」

(2) 「末梢血幹細胞提供に関する同意書」

- ① (財) 骨髄移植推進財団→公益財団法人 骨髄移植推進財団
- ② 「9.」として凍結に関する記載を追加（(1)-③と同様）

＜改訂の経緯＞

・公益財団法人移行に伴う名称変更
・審査を経て骨髄・末梢血幹細胞の凍結が認められた場合のドナー側の対応（ドナーへの説明、同意確認の方法等）について、倫理委員会において審議を行いました。その結果、『ご説明書』の記載内容をドナーに説明し、最終同意書への署名捺印を以て包括的同意がなされたものとし、凍結事例発生時は個別に凍結することについて説明・同意確認を行う必要はないとされました（この対応は現状どおりです）。ただし、最終同意書の一部改訂を行い、「凍結される可能性と不使用の可能性」を明記し、現状よりも明確にドナーの同意を確認することとされました。

9 骨髄等バッグラベルの改訂について（採取施設ならびに移植施設の先生方へ）

現在使用している骨髄バッグラベルの増刷に伴い、一部改訂を行いました。ラベルの下部に「骨髄液」「末梢血幹細胞」「DLI」のチェック欄を設け、いずれの場合にも使用できるようにしました。運用方法と開始時期は以下のとおりです。

1. 運用方法

○地区事務局から採取施設に対して採取計画書等の書類を送る際、ラベルの「骨髄液」「末梢血幹細胞」「DLI」のいずれかにチェックを記入して同封します。

○採取施設および移植施設における対応（採取施設は「採取施設記入欄」にドナーID、血液型を記入し、バッグに貼付する。移植施設はバッグ受領後「移植施設記入欄」に患者ID、血液型を記入する）に変更点はあります。

2. 運用開始時期

○各地区における現行の骨髄バッグラベルの在庫がなくなり次第、随時改訂後のラベルの同封を開始します。

○既に現行の骨髄バッグラベルを送付済みのものについては、差し替えは行いません。

10 「地区代表協力医師会議」 & 「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」開催報告

第34回日本造血細胞移植学会総会（平成24年2月24日～25日）の会期中に標記会議を開催しました。2月24日の「地区代表協力医師会議」には、16名の地区代表協力医師の先生方にご出席いただき、PBSCTコーディネートの現状報告や、ドナー適格性判定基準についての審議、その他意見交換を行いました。2月25日には「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」が開催されました。早朝の会議にもかかわらず、114名の先生方、関係者にご出席くださいました。当財団からはバンク事業の現状やPBSCTコーディネートについての報告、各委員会や事務局からの報告を行いました。中央骨髄データセンターからは、さい帯血バンクシステムの更新および適合検索サービスの使用変更についての説明、さい帯血バンクからはバンクの実情や事業評価委員会からの報告が行われました。欠席された調整医師・採取責任医師、およびコーディネーターの方へ資料を同封しています。

11 委嘱状の発行について（調整医師の方へ）

先生方には、ご多忙中にもかかわらず調整医師委嘱更新書類をご返送いただきありがとうございました。3月下旬より、順次委嘱状をお送りします。今後とも骨髄バンク事業へご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

12 認定証等の発行について（コーディネーターの方へ）

認定・委嘱更新となるコーディネーターの方へ、3月下旬に認定証・委嘱状・コーディネーター証明書をお送りします。今後ともご尽力のほどよろしくお願い申し上げます。また、コーディネーターが不足している地域については、来年度養成研修会を実施する予定です。その際はご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

13 連絡事項

◆中部地区事務局の移転について

中部地区事務局が下記に移転することになりました。

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号 住友生命名古屋ビル11階

TEL:052-562-1488（変更なし） / FAX:052-562-1487（変更なし）

移転に伴い、中部地区事務局の業務は以下のとおりとなります。

- ①3月23日（金） 12時以降、業務休止。電話、FAXともに不通。
- ②3月24日（土）25日（日） 終日、業務休止。電話、FAXともに不通。
- ③3月26日（月） 9時より通常の業務を行います。